

トップメッセージ



代表取締役会長兼社長

河合弘隆

中期経営計画

当社は中期経営計画「Resonate 2018」（第90期～第92期）の2年目、第91期（2017年4月～2018年3月）を迎えました。おりしも2017年は弊社創立90周年にあたります。

何が起ころうとも不思議でない、予測が難しい「不確実な時代」を我々は生きています。今まで頼ってきたものの見直し、あるいは破壊、再構築といった形で新しい芽が生まれてくるかもしれませんが、いつ起こるのかは予想がつかず、覚悟して日々緊張感を持って過ごしています。

本年1月アメリカ新大統領にドナルド・トランプ氏が就任しましたが、「アメリカ・ファースト」を政策の前面にうたい物議を醸しています。今後の動向にも一番の注目が集まる所でしょう。また、イギリスのEUからの離脱、北朝鮮の核の問題、ISの活動と世界にはさまざまな問題が継続して山積する中、日々起こる事象に振り回されることなく、長期的なスパンに立って物事を判断して行かなくてはならないと考えます。

環境への取り組み

自動車業界では、その社会的な責任を果たすべく、ハイブリッド、クリーンディーゼルを初めとしてプラグイン、燃料電池車などに進化し続けています。自動運転も加わり今後は安全も含めて革新的に進化していくことでしょう。多くの企業が、地球温暖化、エネルギー、資源問題などの地球規模の課題に直面するなかで、カワイグループは、限りある資源を後世に残すことが大切な責務と認識し、持続可能な社会の実現、地球環境の保全に向けて積極的に取り組んでまいりました。

1997年にピアノ生産部門である竜洋工場、楽器業界では世界で初めて環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しました。以後、「カワイ地球環境憲章」と「環境方針」のもと、国内外の生産拠点に環境マネジメントシステムを導入してまいりました。2016年も国内1拠点で環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しました。今後もグローバルに環境マネジメントの取組を強化してまいります。

2017 年 会社創立 90 周年



創業間もない頃の「河合楽器研究所」(昭和2年)



社会的責任

2007年の創業80周年の記念事業の一つとしてインドネシアにおいてスタートした植林活動は、現在でも継続しており樹木として大きく育ってきています。また、循環型社会形成のためにピアノの再生利用などの活動にも継続して取り組んでおります。これらが持続性のある、より良い地球環境を安定的に供給してくれるものと信じております。

さらに、日本国内においても活動を始め、2011年より東日本大震災の被災地支援のためチャリティーコンサートを開催し、2015年からは被災地の海岸防災林の再生支援のための植樹活動を、カワイの森育成会とともに継続実施しております。まだまだ現地の復興は先が見えない状況ですが、人々の思いが風化しないように、このような活動は、継続して行かなければと考えております。

100 年ブランドの確立を目指して

カワイグループは創立以来90年に渡ってピアノを通じて、たくさんの感動をお客様にお届けしてまいりました。「不確実な時代」にあっても、美しい音楽を耳にしたときの感動、初めてピアノを手にしたときの喜び、弾けなかった曲が初めて弾けたときの満足感など、世界中の人々が感じる思いは時代を超え不変であると考えます。

その「思い」とともに、祖業であり経営の原点であるピアノづくりを軸として「100年ブランドの確立」を目指しております。今その目標の頂きが見える状況になってきました。最終の10年を一步一步踏み進めていきます。

創立90周年の節目に『Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』を創設いたしました。第1回目の本年は世界25カ国327名のピアニストが参加、8月に横浜でファイナルを迎えます。次世代を担うピアニストを世界各地から発掘・育成するとともに、国際交流の推進や世界の音楽文化の振興を推進する役割を果たしてまいります。

カワイグループの環境・社会面の活動を本報告書にまとめました。是非ご一読いただき、弊社の考え方や活動にご支援と忌憚のないご意見をいただければ幸いです。